

部分床義歯補綴学実習 I

責任者名：安田 裕康

学期：前期

対象学年：4年

授業形式等：実習

◆担当教員

安田 裕康(歯科補綴学Ⅱ 助教)
月村 直樹(歯科補綴学Ⅱ 准教授)
大谷 賢二(歯科補綴学Ⅱ 専任講師)
大山 哲生(歯科補綴学Ⅱ 専任講師)
秋田 大輔(歯科補綴学Ⅱ 助教)
石上 友彦(特任教授)
青山 芳博(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
小豆畑 拓夫(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
宇美 隆生(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
内田 耕司(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
大野 繁(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
岡田 信夫(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
北村 晃一(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
小林 公(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
澤野 宗如(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
高村 昌明(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
豊田 潤(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
中臺 一介(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
藤本 俊輝(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
三井 安治(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
三橋 裕(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
森川 正朗(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
伊藤 顕治(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
永井 栄一(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
中林 晋也(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
眞田 淳太郎(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
高橋 侑子(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)

◆一般目標 (GIO)

歯列欠損患者の治療方法の1つとしての部分床義歯製作法を修得する。部分床義歯を製作するために、その製作過程の中でのスタディモデルの製作、前処置としてのレストシートおよびガイドプレーンの形成、精密印象採得などの臨床術式、咬合採得などの臨床術式、および個人トレーの製作、作業用模型の修正（マーキング）、耐火模型の製作などの技工操作を修得し、それらに関連する知識を理解する。

◆到達目標 (SBOs)

- 1) 部分床義歯製作における、器材および材料の使用方法を説明できる。
- 2) 欠損形態の分類とその特徴について述べるができる。
- 3) 研究用模型を用いた部分床義歯の設計手順を述べるができる。
- 4) サベイングの目的とサベイヤーの使用法について述べるができる。
- 5) 部分床義歯特有の個人トレーおよび咬合床の製作法を説明し、行うことができる。
- 6) 半調整性咬合器の原理を説明し、使用できる。
- 7) 支台装置の種類、製作方法、機能および適応について述べるができる。

◆評価方法

本教科の成績評価点は、平常時に行っている実習書に記載する製作物の完成度(評価項目 10 項目) (10 項目×10%) で評価する。なお、平常時に行う採点用製作物は、採点時あるいは採点後にフィードバックを行い、各学生に対して製作物のどこを修正すると、より良い製作物になるか指導する。また、実習の理解に関して、実習を観察し、実習内容に理解が足りない学生に対してレポートの提出を求める。その場合はレポート提出時に、レポート課題に対して、より良いレポートにするためのフィードバックを行う。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
安田 裕康	17:00~18:00 (火曜日) 歯科補綴学第II講座 (本館5階)	03-3219-8144 desh20275@g.nihon-u.ac.jp	

◆授業の方法

実習は4月6日(全15回)から行われ、基本的に火曜日2時限に実習説明のための遠隔講義を行い、火曜日4~7時限に第5実習室で2グループに分かれて進行する。実習書の課題に対して積極的に実習を行い、評価を受けてもらう。レポートに関しては、実習の進行状況を見ながら、随時、課題を挙げて提出をしてもらう。レストシート形成などは第4実習室を使用する。それら課題に対して積極的に実習講義を受け、レポートを担当教員に評価をしてもらう。

【実務経験】

安田裕康：現在、在職している日本大学歯学部附属歯科病院局部床義歯科での臨床経験等の話しも交えながら、歯科臨床現場において本教科で学ぶ内容の理論や主に実技がどのように実際に活用されるかについて、わかりやすく解説し、適切な実技を学ぶ場を提供したいと考えています。

◆教材(教科書、参考図書、プリント等)

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
実習書	部分床義歯補綴学実習書	日本大学歯学部歯科補綴学 第II講座編		2020

◆DP・CP

[DP-1]コンピテンス：豊かな知識・教養に基づく高い倫理観

コンピテンシー：医の尊厳を理解し、法と論理に基づいた医療を実践するために必要な豊かな教養と歯科医学の知

識を修得できる。

[DP-4]コンピテンス：問題発見・解決力

コンピテンス：自ら問題を発見し、その解決に必要な基本的歯科医学・医療の知識とスキルを修得できる。

[DP-5]コンピテンス：挑戦力

コンピテンス：新たな課題の解決策を見出すために、基礎・臨床・社会医学等の知識を基に積極的に挑戦し続けることができる。

[DP-8]コンピテンス：省察力

コンピテンス：プロフェッショナルとして生涯にわたり、振り返りを通じて基礎・臨床・社会歯科領域において自らを高める能力を身につけている。

[CP - 1] 歯科医学と医療倫理の基礎的知識を修得し、社会人としての品格と医療人になるための自覚を養成する。

[CP - 4] 歯科医学の基礎知識を体系的に修得し、臨床的な観点で問題を解決する力を養成する。

[CP - 5] 研究で明らかとなる新たな知見と研究マインドをもとに、歯科医学の課題に挑戦する学生を育成する。

[CP - 8] 各学年における学修で得た歯科医学の知識、技術および省察力をもとに、歯科医師として生涯にわたる学習する姿勢を育成する。

◆準備学習(予習・復習)

必ず事前に実習書を読み、実習前講義の説明内容を理解しておくこと。

本実習の遠隔講義、実習中に平常試験を行う為、それまでに十分に学習すること。

◆準備学習時間

各々実習時間の同等の時間を充てて予習と復習を行うこと。

◆全学年を通しての関連教科

歯科理工学Ⅰ（2年後期）

歯科理工学実習Ⅰ（2年後期）

歯科理工学Ⅱ（3年前期）

歯科理工学実習Ⅱ（3年前期）

歯冠補綴学（3年後期）

歯冠補綴学実習（3年後期）

咬合学概論（3年後期）

架橋義歯補綴学（4年前期）

部分床義歯補綴学Ⅰ（4年前期）

架橋義歯補綴学実習（4年前期）

総義歯補綴学Ⅰ（4年前期）

顎機能治療学（4年前期）

顎機能分析学（4年後期）

顎機能分析学演習（4年後期）

総義歯補綴学実習（4年後期）

部分床義歯補綴学Ⅱ（4年後期）

総義歯補綴学Ⅱ（4年後期）

◆予定表

回	クラス	月日	時間	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
---	-----	----	----	------	--------	----	----------

1	遠隔講義	4.6	2	<p>【遠隔】</p> <p>1. 顎歯型の点検</p> <p>2-1. 上顎研究用模型の製作</p> <p>1)顎歯型の印象採得</p> <p>2)石膏注入 (教)pp.1-5</p> <p>2-2. 下顎研究用模型の製作 (教)pp.6-9</p> <p>3. サベイヤーの使用法 (教)pp.11-16</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・義歯製作にあたって、当該症例（顎歯型）の咬合状態を調整する必要性と方法を述べることができる。 ・義歯製作にあたり、診査・診断および治療計画や義歯の設計を行うために、研究用模型を製作を行うことができる。 ・上下顎模型のトリミングを行い、平行模型の必要性と製作を行うことができる。 ・サベイヤーの目的およびサベイヤーの使用法、付属品の名称を述べることができる。 	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯，全部床義歯）①歯の欠損，顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。①歯の欠損，顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。
2 ～ 3	A:4,5 B:6,7 時限	4.6	4 ～ 7	<p>【対面】</p> <p>1. 顎歯型の点検 (教)pp.1-2</p> <p>2. 石膏模型の点検</p> <p>3. サベイヤーの使用法 (教)pp.11-16</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・義歯製作にあたって、当該症例（顎歯型）の咬合状態を調整する必要性と方法を述べることができる。 ・義歯製作にあたり、診査・診断および治療計画や義歯の設計を行うために、研究用模型を製作を行うことができる。 ・上下顎模型のトリミングを行い、平行模型の必要性と製作を行うことができる。 ・サベイヤーの目的およびサベイヤーの使用法、付属品の名称を述べることができる。 	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯，全部床義歯）①歯の欠損，顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。①歯の欠損，顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。
4		4.13	2	<p>【遠隔】</p> <p>4. 義歯の設計 (教)pp.17-24</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・支台装置の機能について述べるができる。 ・レスト座の設置位置，ガイドプレーンの目的とその働きを述べるができる。 ・金属床義歯とレジン床の違いを述べるができる。 	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯，全部床義歯）①歯の欠損，顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。①歯の欠損，顎骨・顔

							面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。
5 ～ 6	A:4,5 B:6,7 時限	4.13	4 ～ 7	【対面】 4. 義歯の設計 (教)pp.17-24	<ul style="list-style-type: none"> ・支台装置の機能について述べることができる。 ・レスト座の設置位置, ガイドプレーンの目的とその働きを述べることができる。 ・金属床義歯とレジン床の違いを述べることができる。 	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯, 全部床義歯) ① 歯の欠損, 顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。 ①歯の欠損, 顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。
7		4.20	2	【遠隔】 5-1. 個人トレーの製作 (下顎のみ) (教)pp.25-27	<ul style="list-style-type: none"> ・トレーレジンの操作性について操作することができる。 ・個人トレーの利点および製法について行うことができる。 ・トレーの外形線, ストッパーの位置, トレーの柄の形態などについて述べることができる。 	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯, 全部床義歯) ① 歯の欠損, 顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。 ①歯の欠損, 顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。
8 ～ 9	A:4,5 B:6,7 時限	4.20	4 ～ 7	【対面】 5-1. 個人トレーの製作 (下顎のみ) (教)pp.25-27	<ul style="list-style-type: none"> ・トレーレジンの操作性について操作することができる。 ・個人トレーの利点および製法について行うことができる。 ・トレーの外形線, ストッパーの位置, トレーの柄の形態などについて 	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯, 全部床義歯) ① 歯の欠損, 顎骨・顔面の欠

					述べることができる。		損に伴う障害の種類と病態を説明できる。①歯の欠損、顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。
10		4.27	2	【遠隔】 6. 前処置 1)形態修正 2)ガイドプレートの形成 3)レスト座の形成 (教)pp.30-45	・義歯の設計に必要な残存歯の前処置法、および支台歯の前処置法を述べることができる。	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯，全部床義歯）①歯の欠損，顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。①歯の欠損，顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。
11 ～ 12	A:4,5 B:6,7 時限	4.27	4 ～ 7	【対面】 5-2. 個人トレーの製作 (下顎のみ) (教)pp.25-27	・トレーの外形線，ストッパーの位置，トレーの柄の形態などについて述べることができる。	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯，全部床義歯）①歯の欠損，顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。①歯の欠損，顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。
13		5.8	2	【遠隔】	・既製トレーを用いて，概形印象採	部分床義歯	E-3-4)-(2) 可

				<p>2-1. 上顎研究用模型の製作 1)顎歯型の印象採得 2)石膏注入 (教)pp.1-5</p> <p>2-2. 下顎研究用模型の製作 (教)pp.6-9 ※土曜日 (5/8)</p>	<p>得法を行うことができる。</p>	<p>補綴学実習</p>	<p>撤性義歯（部分床義歯，全部床義歯）①歯の欠損，顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。①歯の欠損，顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。</p>
14 ～ 15	A:4,5 B:6,7 時限	5.8	4 ～ 7	<p>【対面】 2-1. 研究用模型の製作 顎歯型の印象採得 (教)pp.1-5</p> <p>6. 前処置 1)形態修正 2)ガイドプレーンの形成 3)レスト座の形成 (教)pp.30-45 ※土曜日 (5/8) ※第4実習室を用いて行う。</p>	<p>・既製トレーを用いて，概形印象採得法を行うことができる。 ・義歯の設計に必要な残存歯の前処置法，および支台歯の前処置法を行うことができる。</p>	<p>部分床義歯 補綴学実習</p>	<p>E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯，全部床義歯）①歯の欠損，顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。①歯の欠損，顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。</p>
16		5.11	2	<p>【遠隔】 7. 作業模型の製作 1)顎模型の精密印象採得 (教)pp.47-48</p>	<p>・個人トレーを用いた精密印象採得法を行うことができる。 ・部分床義歯製作のための作業用模型の製作法を行うことができる。</p>	<p>部分床義歯 補綴学実習</p>	<p>E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯，全部床義歯）①歯の欠損，顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。①歯の欠損，顎骨・顔面の欠損に伴</p>

							う障害の種類と病態を説明できる。
17 ～ 18	A:4,5 B:6,7 時限	5.11	4 ～ 7	【対面】 7. 作業模型の製作 1)顎模型の精密印象採得 (教)pp.47-48	・作業用模型のトリミングの必要性と方法を行うことができる。	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯，全部床義歯）①歯の欠損，顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。①歯の欠損，顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。
19		5.18	2	【遠隔】 7. 作業模型の製作 2)石膏注入 (教)pp.49-50	・作業用模型のトリミングの必要性と方法を行うことができる。	安田 裕康 大谷 賢二 大山 哲生 秋田 大輔	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯，全部床義歯）①歯の欠損，顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。①歯の欠損，顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。
20 ～ 21	A:4,5 B:6,7 時限	5.18	4 ～ 7	【対面】 7. 作業模型の製作 2)石膏注入 (教)pp.49-50	・作業用模型のトリミングの必要性と方法を行うことができる。	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯，全部床義歯）①歯の欠損，顎骨・顔面の欠損に伴う障害

							の種類と病態を説明できる。①歯の欠損、顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。
22		5.25	2	【遠隔】 8. 設計線の描記 (教)pp.51-52	<ul style="list-style-type: none"> ・作業用模型上にサベイングし、設計を描記する方法と目的を述べることができる。 ・金属床義歯のフィニッシュラインを述べることができる。 	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯）①歯の欠損、顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。①歯の欠損、顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。
23 ～ 24	A:4,5 B:6,7 時限	5.25	4 ～ 7	【対面】 8. 設計線の描記 (教)pp.51-52	<ul style="list-style-type: none"> ・作業用模型上にサベイングし、設計を描記する方法と目的を述べることができる。 ・金属床義歯のフィニッシュラインを述べることができる。 	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯）①歯の欠損、顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。①歯の欠損、顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。
25		6.1	2	【遠隔】 9. 咬合床の製作	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎床と咬合堤を製作する目的およびその方法を行うことができる。 	月村 直樹 大谷 賢二	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部

				(教)pp.53-56		秋田 大輔	分床義歯, 全部床義歯) ① 歯の欠損, 顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。①歯の欠損, 顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。
26 ～ 27	A:4,5 B:6,7 時限	6.1	4 ～ 7	【対面】 9. 咬合床の製作 (教)pp.53-56	・基礎床と咬合堤を製作する目的およびその方法を行うことができる。	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯 (部分床義歯, 全部床義歯) ① 歯の欠損, 顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。①歯の欠損, 顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。
28		6.8	2	【遠隔】 10. 咬合採得と咬合器装着 (教)pp.57-70 11. 作業用模型の修正 1) ブロックアウト 2) リリーフ (教)pp.53-65	・ジグを使用し, 上顎模型の装着を学ぶことができる。 ・咬合採得の目的と方法を行うことができる。 ・咬合器に下顎作業用模型を装着する方法を行うことができる。 ・ブロックアウト, リリーフの目的および方法について行うことができる。	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯 (部分床義歯, 全部床義歯) ① 歯の欠損, 顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。①歯の欠損, 顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類

							と病態を説明できる。
29 ～ 30	A:4,5 B:6,7 時限	6.8	4 ～ 7	<p>【対面】</p> <p>10. 咬合採得と咬合器装着 (教)pp.57-70</p> <p>11.作業用模型の修正</p> <p>1)ブロックアウト</p> <p>2)リリース (教)pp.53-65</p>	<p>・ジグを使用し，上顎模型の装着を学ぶことができる。</p> <p>・咬合採得の目的と方法を行うことができる。</p> <p>・咬合器に下顎作業用模型を装着する方法を行うことができる。</p> <p>・ブロックアウト，リリースの目的および方法について行うことができる。</p>	月村 直樹 大谷 賢二 秋田 大輔	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯，全部床義歯）①歯の欠損，顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。①歯の欠損，顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。
31		6.15	2	<p>【遠隔】</p> <p>11. 作業用模型の修正</p> <p>3)マーキング</p> <p>12. 耐火模型の製作 (教)pp.67-75</p>	<p>・支台歯の鉤腕下縁部（エーカーズ鉤，コンビネーション鉤）にマーキングを行い，その目的と方法を行うことができる。</p> <p>・修正した作業用模型を印象採得し，模型用埋没材で耐火模型を製作する目的と方法を行うことができる。</p>	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯，全部床義歯）①歯の欠損，顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。①歯の欠損，顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。
32 ～ 33	A:4,5 B:6,7 時限	6.15	4 ～ 7	<p>【対面】</p> <p>11. 作業用模型の修正</p> <p>3)マーキング</p> <p>12. 耐火模型の製作 (教)pp.67-75</p>	<p>・支台歯の鉤腕下縁部（エーカーズ鉤，コンビネーション鉤）にマーキングを行い，その目的と方法を行うことができる。</p> <p>・修正した作業用模型を印象採得し，模型用埋没材で耐火模型を製作する目的と方法を行うことができる。</p>	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯，全部床義歯）①歯の欠損，顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態

							を説明できる。①歯の欠損，顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。
34		6.22	2	【遠隔】 12.支台装置の製作 34 のコンビネーション鉤の屈曲 (教)pp.77-80	・コンビネーション鉤の特徴，構成，走行および概形を述べることができる。 ・コンビネーション鉤の頬側維持腕（線鉤）の屈曲の技術を行うことができる。	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯，全部床義歯）①歯の欠損，顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。①歯の欠損，顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。
35 ～ 36	A:4,5 B:6,7 時限	6.22	4 ～ 7	【対面】 12.支台装置の製作 34 のコンビネーション鉤の屈曲 (教)pp.77-80	・コンビネーション鉤の特徴，構成，走行および概形を述べることができる。 ・コンビネーション鉤の頬側維持腕（線鉤）の屈曲の技術を行うことができる。	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯，全部床義歯）①歯の欠損，顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。①歯の欠損，顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。
37		6.29	2	【遠隔】 13.支台装置の製作 34 のコンビネー	ワックスアップ (教)pp.81-84 ・コンビネーション鉤の各構成部分	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯，全

				<p>ション鉤のワックスアップ (教)pp.81-84</p>	<p>の働きを理解し、製作法を修得することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レスト，拮抗腕，鉤脚のワックスアップと，維持腕の線鉤を加えたコンビネーション鉤のワックスアップの技術を行うことができる。 		<p>部床義歯) ①歯の欠損，顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。①歯の欠損，顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。</p>
38 ～ 39	A:4,5 B:6,7 時限	6.29	4 ～ 7	<p>【対面】 13.支台装置の製作 34のコンビネーション鉤のワックスアップ (教)pp.81-84</p>	<p>ワックスアップ (教)pp.81-84</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンビネーション鉤の各構成部分の働きを理解し，製作法を行うことができる。 ・レスト，拮抗腕，鉤脚のワックスアップと，維持腕の線鉤を加えたコンビネーション鉤のワックスアップの技術を行うことができる。 	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯，全部床義歯）①歯の欠損，顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。①歯の欠損，顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。
40		7.6	2	<p>【遠隔】 14. 支台装置の製作 37のエーカーズ鉤のワックスアップ (教)p.85</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・レスト付二腕鉤のワックスアップ法の術式を行うことができる。 	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯，全部床義歯）①歯の欠損，顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。①歯の欠損，顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明

							できる。
41 ～ 42	A:4,5 B:6,7 時限	7.6	4 ～ 7	【対面】 14. 支台装置の製作 37 のエーカーズ鉤のワックスアップ (教)p.85	・レスト付二腕鉤のワックスアップ法の術式を行うことができる。	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯，全部床義歯）①歯の欠損，顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。①歯の欠損，顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。
43		7.13	2	【遠隔】 15.支台装置の製作 34 および 37、鉤の埋没 (教)pp.86-89 34 および 37 ，鉤の鑄造 (教)pp.90, 91	・エーカーズ鉤およびコンビネーション鉤の型ごと埋没法の術式を修得することができる。 ・型ごと埋没法について，他の埋没法との相違を述べることができる。	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯，全部床義歯）①歯の欠損，顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。①歯の欠損，顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。
44 ～ 45	A:4,5 B:6,7 時限	7.13	4 ～ 7	【対面】 15.支台装置の製作 34 および 37、鉤の埋没 (教)pp.86-89	・エーカーズ鉤およびコンビネーション鉤の型ごと埋没法の術式を修得することができる。 ・型ごと埋没法について，他の埋没法との相違を述べることができる。	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯，全部床義歯）①歯の欠損，顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明でき

								る。①歯の欠損，顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。
--	--	--	--	--	--	--	--	------------------------------------

担当グループ一覧表

グループ名	教員コード	教員名
部分床義歯補綴学実習	804	永井 栄一
	1373	中林 晋也
	2646	伊藤 顕治
	3082	眞田 淳太郎
	3000272	青山 芳博
	3000273	宇美 隆生
	3000274	岡田 信夫
	3000275	北村 晃一
	3000276	小林 公
	3000277	中臺 一介
	3000280	藤本 俊輝
	3000281	三井 安治
	3000282	三橋 裕
	3000284	森川 正朗
	3000285	澤野 宗如
	3000287	高村 昌明
	3000288	大野 繁
	3000289	小豆畑 拓夫
	3000290	内田 耕司
	3000292	豊田 潤
	3000603	高橋 侑子
	5000005	石上 友彦
	1195	大谷 賢二
	1206	月村 直樹
	1239	大山 哲生
	2696	秋田 大輔
	2969	安田 裕康

